

年会長 小林武彦氏に聞く  
(東京大学定量生命科学研究所教授)

# 第48回 日本分子生物学会年会

12月3～5日 パシフィコ横浜で開催

## 何かが変わる「この指とまれ企画」 様々な人と交流する機会に

### 現地に集まる機会いかす

――今回は完全対面開催になりましたね  
会場となるパシフィコ横浜との交渉を経て大きなディスプレイが得られたので、横浜での開催を復活させることができました。これを好機に国内からも国外からも現地にきてもらいたいというの輪を広げていきたいです。

――全部、現地開催にして、発表者数、参加者数、そして高橋生などの参加者もコロナ禍後、最高レベルになっています。また、企業からの出展やセミナー共催も非常に積極的にお申し込みいただきました。年会对関する各方面の皆さまのおかげで、予算に何とか余裕ができました。

――外国の方も含めて全員現地にきてもらっていますので、せっかくだから招待講演をお願いした方だけでレセプションをやろうというところになりました。

### 高精度の翻訳を試験導入

――AI同時通訳を導入  
年会の発表の半分以上が日本語のセッションです。値段が高くて、全部の会場には導入できなかったのですが、参加者が多いシンポジウムの会場でポテトクを入れました。名前が変わって、Session、カンファレンス、というのですが、AIを組み込んで各分野に特化した翻訳してくれるので、ネイティブの英語から日本語への翻訳はほぼ完璧です。日本語を英語にするのも精度が高

――聞きかけになると思って、試験的に導入してみました。

日本分子生物学会(MBSJ)は、第48回年会を12月3～5日、パシフィコ横浜で開催する。今回のテーマは「この指とまれ」Let's gather here, in Yokohama!。コロナ禍後初めてとなる完全対面開催だ。指定シンポジウム、公募シンポジウムなどのシンポジウム162企画、フォーラム16企画、ポスター発表を9333題、生命科学会としては日本最大規模の学術大会となる。早期参加登録者も4508人(11月11日現在)とコロナ禍以降最多だ。初めての試みとして、マッチングイベント企画「この指とまれ」が予定されており、多くの参加者にとって、様々な人と交流する機会になるだろう。年会長の小林武彦・東京大学定量生命科学研究所教授に、今年の狙いを聞いた。

(第48回日本分子生物学会年会特集 3～5面)

――マッチングイベント企画「この指とまれ」  
「この指とまれ」は、新しい出会いから革新的な研究のタネを作るマッチング企画を会員の皆さんに提案したものです。

――「〇〇の研究をやりたい人」の指とまれ」「留学先で悩んでいる人」の指とまれ」「招待講演者の〇〇先生と〇〇について語りたい人」の指とまれ」「科研費申請で悩んでいる人」の指とまれ」「博士課程進修で悩んでいる人」の指とまれ」のような感じで、初対面の人が知り合いになる企画を提案してくださいます。事前登録で5名を超えたら企画成立、成立したグループには、語り合う場として、テーブルドリンク、おつまみを提供するというものです。初日2日目の夜7時15分から75分間。当日の飛び入り参加もOKで、夢を語り、仲間を作り、将来の革新的イノベーションにつながる場になります。話が盛り上がりたつと、引き続きkeep in touchで共同研究の芽を育ててください。もちろんそのまますぐ次の会に行ってもいいかもしれません。

### 5人以上が集い語り合う

――最初は何となく集まるのと心配していたのですが、40の企画で事前登録だけで約400名が集まりました。ホームページ上から「フォーラム」を取りたい、あるいはそれに匹敵するような大発見がしたい人、この指とまれという企画を提案していたのですが、企画がいくつかはいい感じだったので、やめました(笑)。

――以前から、私が年会で気になっていたことなのですが、大きなラボから来る人は、その後、飲みに行ったりして楽しそうにしているんです。でも、そうではない人も結構多い。ちょっと来てすぐ帰っちゃうような。

――せっかくみんな現地に集まるんだから、やはり知り合いを増やしてもらおうかなと思って、何でもいから自分で仲間募集みたいな企画を立ててもらって5人以上集まったら成立というかたちでつくったんです。結局、全企画が成立しました。

――大学院生集まれ、といったところから絞って、これに興味のある人の指止まれといったことを考えた方もおられて、まよやてみないとこまで成功するかはわかりません。

――一つ心配しているのが、その「大学院生の指止まれ」という企画です。40人とか50人くらい集まっているんです。当日参加が加わると、もっと多くなる。楽しそうにワイワイしている感じが、少しワイワイになってしまふ。今ちょっとこまめに一回かいて、提案をこちらから考えてお手伝いさせてもらおうかなと思っています。

――お酒(福井地酒)も、ビールも、もうそのジュースも出さず、いろいろな飲み物を知り合いになればいいかなと思ったのですが、この規模は想定外だったので、たこえは小グループに分けて、みんなで全員の抱える問題を出して、最後はそれぞれのグループが発表して盛り上がるみたいなあんまり人数が多いと、何か企画を練らないと、結局その中でも誰ともしゃべらない人が出てきてしまふ。そうするからね、それは趣旨に合いません。

――会場自体は、展示ホールを使うので十分な広さがあり、その点は心配していません。その点は事前登録だけで約400名が集まりました。ホームページ上から「フォーラム」を取りたい、あるいはそれに匹敵するような大発見がしたい人、この指とまれという企画を提案していたのですが、企画がいくつかはいい感じだったので、やめました(笑)。

### 子育て中の研究者を応援

――今回企画を出してくれたのは、うーん、多い方多い方多い方、海外の機関に所属している方も頑張っている人、アメリカで研究したい人、この指止まれ!海外研究キャリア相談会・ポスドクの根拠からといった企画は、海外機関に所属している方が、留学を促す企画を提案してくれています。

――また「研究と育児のクロスロード」リアルを共有する交流会という子育て中の研究者を中心に、家族のケアと研究を両立している人、またはその実情を理解し、関心のある研究者を対象にした企画もあります。実はこの企画だけ、昼間にやります。子育て中で悩みを相談したい人など、幅広く参加できるようにしています。ぜひ、つながりを作ってくださいね。押し付けではなく、自主的にこういうことをやってくれるというの、非常にありがたいです。本当は、自由に集まるように会場だけを提供して、というくらいが、良いのかも知れないですが、逆に、こういう企画がないと、小さな研究室に所属している若い人たちが知り合いを作れないんですよ。だから、これはぜひ口会友連を作って、その後、1次会、2次会に繰り出してもらうように、来年度以降もぜひ続けてほしいと、次の年会長の木島先生にもお願いしているのですが、今回の様子を見てからとのこと(笑)。

### 異分野の面白い話を聞く

――今回はシンポジウムも結構たくさんありますね  
横浜会場は会議室が多くとれることもあり、やりたいという企画は何となく作っていった感じ、というのが主催者側の仕事だと思うので、全部採択しました。一部はフォーラム企画への変更を依頼しました。

――たまに学会の趣旨とは異なる企画が出てくることもあるので、自分と違う分野で面白そうに話している人がいたらとあえて聞いてみます。すごく基本的なことから、私は科学オタクなので、大昔、分子生物学会の最終日は後片付けの関係で早めに終わっていました。その日はどのカテゴリーにも入らない「その他の?」な発表が多くて、それを聞くのが好きだった。聞いている人も少なく、発表している人は「まだ最終日だよ、みたいなことを言っている。でも、もしかしらその中から面白いものが出てくるかもしれない。他のカテゴリーに入らない研究。例えば、新しいDNAの構造を発見とか。最近はそのようなものはなかなか出ないですね。」

――ポスターセッションの見方は、まずはポイントですね。分子生物学会は予備が大切で、とにかくプログラムの表題は全部見て、関係ある発表の番号を全部控えておきます。その番号のところに、最初に行きわけですが、発

導く、一人知り合いがいるかなという感じがする。思ったよりも退散していない。入れ替わりもあるし、いろいろな分野の方がおられるので、違う分野の方と知り合うきっかけがなかなかないのが現状です。ヒトのゲノムの2倍だけが遺伝子領域(エクソン)で98%は非コード領域なんです。その98%を探

るというのが、私自身の研究テーマの一つでもあるのですが、分子生物学会会員の私の存じ上げない98%の会員と会話して、どういったのを探る。2日間、すべての企画を回って、私なりに知り合いを増やそうと思っています。同じ時間帯にフォーラムも企画いただいています。今年の年会は夜までお楽しみください。

## KUBOTA Centrifuge ノンフロンモデル M300FR 新発売

### F-gas free ノンフロン遠心機ラインナップ

フロア型冷却遠心機  
**S700FR**  
F-gas free  
最大処理量: 750mL×4  
最高回転数: 12,000rpm



卓上冷却遠心機  
**S700TR**  
F-gas free  
最大処理量: 750mL×4  
最高回転数: 12,000rpm



フロア型冷却遠心機  
**S500FR**  
F-gas free  
最大処理量: 500mL×4  
最高回転数: 8,500rpm



高速冷却遠心機  
**6200**  
F-gas free  
最大処理量: 500mL×4  
最高回転数: 16,000rpm



卓上高速冷却遠心機  
**M500TR**  
F-gas free  
最大処理量: 500mL×4  
最高回転数: 15,300rpm



卓上冷却遠心機  
**S300TR**  
F-gas free  
最大処理量: 15mL×24  
最高回転数: 4,000rpm



マイクロ冷却遠心機  
**M300FR**  
F-gas free  
最大処理量: 38mL×6  
最高回転数: 15,300rpm



KUBOTA

久保田商事株式会社  
www.kubotacorp.co.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-9 TEL.03-3815-1331 FAX.03-3814-2574  
札幌 011-751-2175 仙台 022-287-2181 つくば 029-856-3211 名古屋 0561-64-2351  
大阪 06-6762-8471 広島 082-871-7811 福岡 092-621-1161



直近の科学技術・学術研究情報や研究公募情報がまるわかり

# 「科学新聞デジタル版」 「Science News Weekly (SNW)」

セット購読が  
超お得です

## 「科学新聞デジタル版」

- 毎週金曜日に最新号がアップされ、新聞をPDFで読むことができるサービスです。
- 過去1年分の新聞を無料で読める!

## 「Science News Weekly (SNW)」

科学技術分野の情報提供を目的とした会員制情報配信サービスです。科学新聞社に集まる科学情報(国内の大学や研究機関・行政機関・企業・団体の最新ニュースや・研究公募情報など)を週1回・月曜、年48回配信します。

「科学新聞デジタル版」と「Science News Weekly(SNW)」を同時購読でお申し込みいただくと、SNWがサービス購読できます。それぞれ単体での申し込みよりも、お得な料金プランです。

▶購読の詳細・サンプル・申し込みはこちら  
<https://sci-news.co.jp/subscribe/>



デジタル版・SNWセット



デジタル版

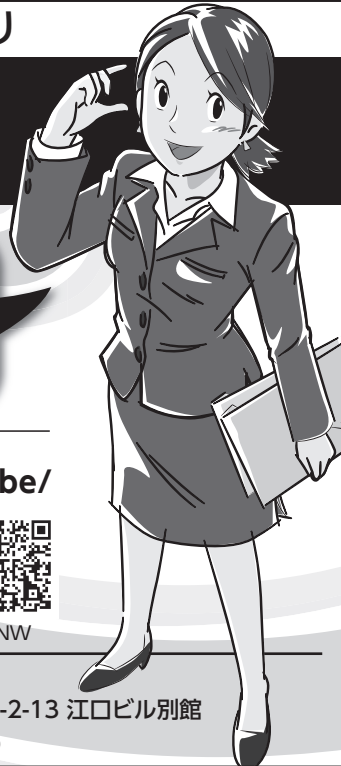


SNW

 **科学新聞**  
The Science News

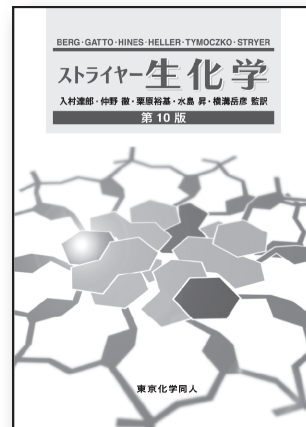
お申し込み／お問い合わせ

株式会社 科学新聞社 営業部 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-2-13 江口ビル別館  
TEL. 03-3434-3741 E-mail: eigyo@sci-news.co.jp



世界的名著 7年ぶりの日本語版改訂

Berg・Gatto・Hines・Heller・Tymoczko・Stryer 著



# ストライヤー 生化学 第10版

最新刊

入村達郎・仲野 徹・栗原裕基・水島 昇・横溝岳彦 監訳

A4変型判 カラー 964ページ 定価14960円



最新の研究成果を反映して、  
内容をアップデート!

臨床応用のコラム記事も約100項目あり

【新版で加えられた最近の進歩と発見】

- 単一分子レベルにおける結合現象
- AlphaFoldの開発
- 糖鎖構造と糖タンパク質の役割
- バイオ医薬品 など

待望の

オールインワン専門書 基礎理論をこの1冊で!

## 分子動力学シミュレーションの 基礎理論

バイオ分野への応用も記載

理解を深める  
プログラムと動画付き

松林伸幸 編

A5判 296ページ 定価5280円



東京化学同人 〒112-0011 東京都文京区千石 3-36-7 TEL: 03-3946-5311 E-mail: info@tkd-pbl.com 定価は 10% 税込



## 第48回 日本分子生物学会年会特集

## 【3面から続く】

初めて年会で発表したのは1988年に日本大学で開催した第11回年会が初めての発表です。当時は会員数が3000人くらいで、参加したのも500人くらいだったと思います。九州大学の大学院生だったので、新幹線に乗って3泊4日で行ったのを覚えてます。

その時の一番の思い出は、大腸菌の複製の話を発表してその後、新聞社の取材を受けたんですよ。うーん内容なのかを説明した後、ボスは誰かと聞かれたので、あの人ですといったら、そっちにいったら、うちにいったら、取材を受けたというよりも、仲介したという感じですね(笑)。

## 情報学一辺倒の弊害あり

(当時の講演要旨) B 5判サイズを4分割して、そこに手書きの講演要旨が掲載されていた。お金持ちのラボは、ワープロで打ったものが掲載されています。

当時の分子生物学会は、基本的に、大腸菌とかファージの複製とか組み換えとか、分子遺伝学が多かったんで、まだ動物細胞の云々っていうのは、テクニカルに難しい時代でした。プラスミドを切り貼りしたりがせいぜい。今はキットがあるので、テクニカル的には誰でも自由に問題なく

## 先輩のキラキラ感が重要

——学生への影響  
いま理化学研究所の生物学専攻では、修士を出て就職する方が半数以上です。昔の理学部では、ほとんど博士に進んで、そのまま研究者を目指していた。でも今は大半は企業での就職を目指しています。修士卒では企業の研究職がそれほど多くないので、皆さん、コンサルだとかITだとかに進んでいく。ベンチ(実験室)でもなくて、オフィスの方に引っついてしまってます。製薬や食品業界に就職して、生命科学をやっている人もいます。が、どちらかというと情報学をメインとして活動されている方が多いですね。

## ステージで楽しく踊ろう

——それもある曲を作ったんだんですね  
若者にお願してダンスを作った。年会では学問的な情報の交換はもう重要だけれども、それだけで僕らの人生は成り立っていない。楽しくやろうよ。もともと曲を作るといふカルチャーも私が始めました。コロナ禍でハイブリッド開催となった2021年の横浜年会です。

当時、コロナ禍の影響で、皆さん外出に積極的ではありませんでした。会期中は、毎日抗原検査をやりました。医大の先生に協力してもらい、看護師さんを集めて、検査会なども交差して、格安で検査キットを提供していただきました。希望者全員を無料で検査しました。希望者全員を無料で検査しました。

年会への参加も、特に対面参加は減少しました。だから、せめて

情報学が身近にはなったのですが、逆にそれはいいことになってきません。純粋に生き物の不思議だとか、生命の不思議ってところから始まってはいないの。どのぐらいハマる学問なのかは分からないですね。

情報学の観点から見ると、対象は生物学だった社会学だった一緒に生物学。半問として本来持っている生物学の面白さを、皆さんちゃんと満喫していただいているかどうかちょっと分からないです。

「冗談はやめてください」と、次は「親に怒られます」と。最初から博士に進むという選択肢がない。そういう時代になってしまっています。

よくよく聞くと、任期制が大き

必要因の一つです。正直若い人に任期制はきついです。結婚とか、ライフイベントを選択しづらい。やっていける自信も持てない。あと、一回言われてショックだったのは、やっぱり「オフィス系」の世界を見ちゃうとキラキラ感が違う。ボスがキラキラしている。若くて職場が活気があっている。先輩たちのキラキラ感ってのは若い人にとってはすごく重要かなと思ったんです。

若い人はみんな、ある程度上の人を見ながら自分の人生の選択をしていくわけで、私はいまだに上だけ、私のキラキラ度は私より少し若い人、あるいはそれよりも若い人につながっている。と、やっぱり一番の責任者は私でした。

マスターして、みんなで踊るといふものです。私たちは、メンバーを胡桃坂46と呼んでいます。パシフィコ横浜メインホールのステージなので広さは十分なんです。でも、ステージに乗れるだけ乗って、乗れなかった人は周りで踊る。踊りの振り付けは、年会ホームページで公開しているので、ぜひ参加してほしいと思います。

また市民公開講座の前に、高校生の研究発表があります。過去最多のポスター発表が予定されています。振り付けについてもアナウンスしているのでも、一緒に楽しく踊って、研究者も悪くないと思っ

てもらえたら幸いです。

年会最終日の夕方というのは、遠方からご参加の方が帰路につくなど、やさしい雰囲気になるものですが、今回は夜7時までポスター発表も行われるので、ぜひ、市民公開講座まで参加して、みんなで踊りましょう。1000人規模の会場でステージに立つ機会はないかなと思うので、Personal Chair Reactionという意味でも長い体験になると思います。

## 日本の科学再興の絶好機

科学新聞11月14日号では、日本は欧米やアジアの一部と比べて、異分野が融合した学際研究分野を超えた研究のアクティビティが相対的に低いことを伝えた。異分野の融合をどうエンカレッジすべきか、小林教授に聞くと、組織として異分野融合を促進するのではなく、まずは異分野の研究者同士の交流を増やし、知り合いを増やすことが重要だという。人的ネットワークを持ったシニア研究者は、目的に応じて人同士のつながりをデザインできる。一方で若手の場合、目的が友人づくりであれば、共同研究に至らなくても失敗ではないし、もし学際的な研究ができるようになれば、それ自体が大きな成功だ。「このゆび、とーまれっ」企画は、日本の科学を再興する、絶好の機会になるかもしれない。

## よく解る実験プロトコル

「解らない」が「解る」喜び。

実験方法・製品の使い分け・使用例・注意点・トラブルシューティングなどを合わせて掲載した4種類の「よく解る実験プロトコル」を用意しています。

資料請求(無料)はこちら

よく解る実験プロトコル

価格・納期のご照会  
0120-489-552製品に関するご照会  
URL: <https://www.nacalai.co.jp/contact/>  
TEL: 075-211-2703

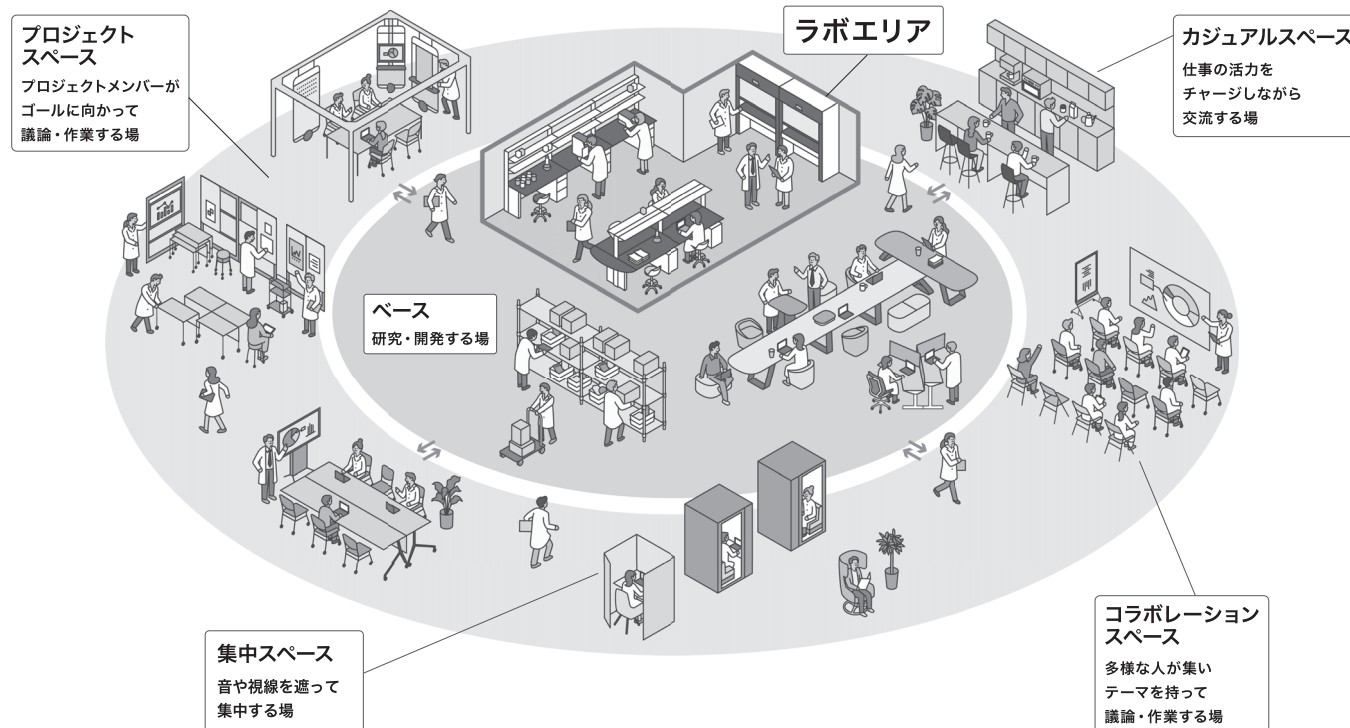
nacalai tesque

The quality for certainty.

ナカライテスク株式会社

〒604-0855 京都市中京区二条通烏丸西入東玉屋町498

## ラボワーカーの新しい働き方

オカムラはラボエリアを中心に  
「はたらく」環境をご提案します<https://www.okamura.co.jp/> 株式会社オカムラ

お問合せ・ご相談は(お客様相談室) ☎ 0120-81-9060 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

人を想い、場を創る。

okamura



## 無料Webセミナー、随時開催中!

最新のイメージング事例およびイメージング技術、関連するトピックについて学べるWebセミナーを開催しています。イメージング分野に関するオピニオンリーダーや各界の専門家のお話を視聴できます。ライブ配信、録画配信のいずれも無料でご利用可能です。

開催セミナーの一例

Nikon Asia Pacific  
Life Science Webinar「MPSの開発」、  
「超解像イメージング」、  
「細胞培養・評価の自動化」などシリーズセミナー  
「相分離」大阪大学・  
ニコンイメージングセンター  
シリーズセミナー今さら聞けない!?  
共焦点顕微鏡の  
基本はなしご利用は  
こちらから

株式会社 ニコン ソリューションズ

製品紹介サイト: [www.microscope.healthcare.nikon.com/ja\\_JP](http://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP)

EVIDENT

FLUOVUE FV5000  
共焦点レーザー走査型顕微鏡

Simply Powerful Imaging: Faster, Smarter, Clearer

## 顕微鏡観察の限界のその先へ

革新的 SilVIR ディテクターによる  
フォトンカウンティングで蛍光画像を定量化微弱蛍光と高輝度蛍光をサチレーションなく  
同時検出できるワイドなハイダイナミックレンジハイブリッドスキャナーは 2K レゾナント、  
8K ガルバノイメージングへとさらに進化

FV5000詳細はこちら

Tetbow 法で大脳皮質神経細胞を7色標識し(子宮内エレクトロポレーション法)、  
SeeDB2で透明化したマウス脳スライス  
九州大学大学院医学研究院 藤本 聡志 先生、今井 猛 先生

株式会社エビデント

〒192-0033 東京都八王子市高倉町 67-4

【お問い合わせ】お客様相談センター 0120-58-0414

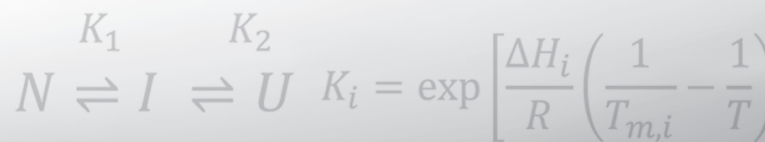
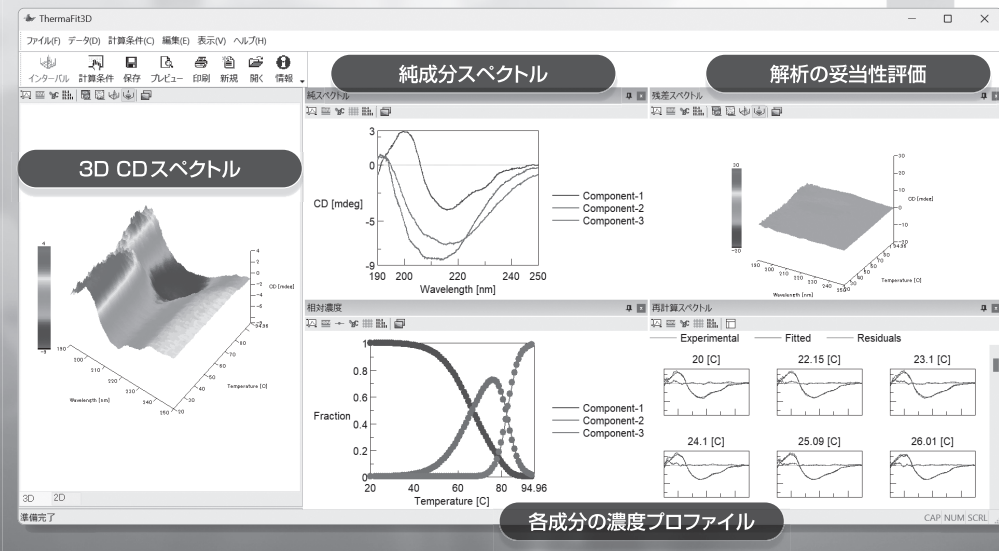
EvidentScientific.com <https://evidentscientific.com/ja/contact-us>



# 核酸の複雑な熱変性の過程を捉える新技術

- 単波長のモニターでは無くスペクトル全体の変化から複雑な熱変性過程を解析
- 混合状態で存在する核酸の各高次構造の分離が可能
- 各相転移の熱力学的パラメーターの算出が可能

## ThermaFit3D プログラム



# J-1000 series / 円二色性分散計

# ThermaFit3Dプログラム

### 3D Thermal Denaturation Analysis of Nucleic Acid in Mixed States

光と技術で未来を見つめる

日本分光

**日本分光株式会社**

〒192-8537 東京都八王子市石川町2967-5  
TEL 042(646)4111(代)  
FAX 042(646)4120

北海道 S-C 011(741)5285	神奈川 S-C 045(989)1711
北日本 S-C 022(748)1040	名古屋 S-C 052(452)2671
筑波 S-C 029(886)7177	大阪 S-C 06(6312)9173
東京 S-C 03(3294)0341	広島 S-C 082(238)4011
西東京 S-C 042(646)7001	九州 S-C 092(588)1931

ISO 9001 ISO 14001



日本分光の最新情報はこちらから

***<https://www.jasco.co.jp>***

日本分光HP



**JASCO** は日本分光株式会社の登録商標です。  
本広告に記載されている装置の外観および各仕様は、  
改善のため予告なく変更することがあります。



## 中型恒温振とう機を一新 信頼性継承、使い勝手向上

### タイテック

タイテック(埼玉県越谷市西方2693-1)は昨春、約30年間販売を行ったロングセラーの中型恒温振とう機「B R-40 U L」をリニューアルした。B R-40シリーズは装置内部が見やすく、奥の容器も取り出しやすい透明アクリル製のアップフードが特徴である(写真参照)。三角フラスコ500mLなら最大8個を収容可能であり、振とう方式は往復と旋回に簡単に切り替え可能で、フラスコなら旋回・試験管なら往復、と容器に合わせて適切な振とう方式へ設定可能である。使用温度範囲+4度C

～+70度C、振幅は10～40mmの範囲で無段階に変更が行え、振とうと温調を要する様々な実験に使用されている。

新商品B R-40 U Lは従来機の信頼性を継承しつつ、コントロールパネルを一新。ダイヤル式の振とう速度設定であった従来機から、温度・速度ともに上下キーによるデジタル設定・デジタル表示に変更を行った。さらにプログラム機能が追加され、37度Cで培養したのちに4度Cでの保存等が行えるようになった。

また省エネにも貢献。冷凍機を任意でON/OFF

可能なスイッチを追加し、たとえば37度Cの使用時で外気と庫内の温度差が高い際にはヒーターのみでの温調にして、従来の1/6の電力で済むよう改良された。

このほかフィルターを掃除しやすいよう本体前面に移動するなど、信頼性はそのままに細かい使い勝手を向上している。

詳細はタイテック企画営業部(電話048-988-8363)まで。



### 久保田商事

久保田商事(KUBOTA、東京都文京区本郷3-29-9)は、今年6月に、同社モデル3700、3740の後継機種となる、「マイクロ冷却遠心機M300 F R ノンフロン」=写真=を発売した。

これまでの3700、3740のユーザーに高評価を得ているU I 周りの操作ツマミを引き継ぎつつ、より使いやすさを追求した新しいデザインとして登場した。

M300 F Rは、最高回転数15,300rpm、最大遠心力22,250×g、冷却機能がついたノンフロン遠心機である。アングルロータ、スイングロータ(M i Xローディング対応)、プレート用ロータの3種類が、この1台で使用で

## マイクロ冷却遠心機の新製品 使いやすさ追求 デザイン一新

き、かつロータ交換はワンタッチ式で専用工具を必要としない。ライフサイエンス系で使用するプロトコルをほぼ網羅している。

アングルロータでは、2種類の新しいロータAF-2024、AF-2524を発売、



AF-2024は1.5/2mLマイクロチューブ24本のスタンダードロータ、AF-2524は、マイクロ系チューブ2mL、1.5mL、0.5mL、0.2mLPCR、0.2mLPCR 8連チューブの5種がアダプタがなくても使用できる。また、スピナカム使用時のキャップ切れにも対応している。

機能面では、遠心機の日常点検をサポートするセルフチェック機能を搭載し、表示に従って遠心機を操作するだけで、各種センサやドアロック機能の動作までを日常の点検で簡単に確認することができる。M300 F Rは、ユーザーの使いやすさと安全、地球環境問題への対応を考えたモデルである。

## 日本分子生物学会年会 展示会関連製品

### エビデント

エビデント(東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス)のFLUOVIEW™MFV5000共焦点レーザー走査型顕微鏡=写真=は、エビデントが誇る光学技術に、先進の検出・走査技術を融合することで驚異的な鮮明さ、スピード、信頼性で、高精度イメージングの新たな基準を打ち立てることに成功した顕微鏡である。

革新的なSiVIR™ディテクターは卓越した感度と広いダイナミックレンジ、フォトンレベルの定量化を実現。新設計のスクャナー制御は、2Kレゾナントスキャンおよび8Kガルバノスキャンに対応し、動的な現象をより鮮明に捉えることが可能になっている。さらに、スマートな自動化機能がワークフローを

## 共焦点レーザー走査型顕微鏡 顕微鏡観察の限界のその先へ

効率化し、システム安定性が再現性の高い結果を実現する。

先進の検出技術、洗練された設計、直感的な操作性を融合したFV5000は、これまでにない手軽さで高性能なイメージングを実現。研究者が、より短時間で、より確実に、より多くの情報を得られるよう支援するものである。



## AIで顕微鏡操作を自動化 創薬の研究開発を加速

ニコンは観察から解析、レポート作成までを自動で行うスマートイメージングシステム「ECLIPSE Ji」=写真=を発売、アッセイなどの定型業務から応用研究まで幅広く対応し、創薬における研究開発の効率化や加速に貢献している。

<主な特長>

【①A Iで顕微鏡操作を自動化し、サンプルセットからレポート出力までを効率化】アッセイを選択、基本情報を入力すると、A Iが自動でフォーカスや露光

条件の設定などを行い、最適な画像の取得・解析やデータを抽出。顕微鏡操作の自動化でサンプルセットからレポートの出力までを一貫して効率化し、ユーザーのワークフローを改善する。専門知識がなくても利用でき人によるばらつきがないため、解析成功率の向上が期待できる。

【②1つの細胞から集団までを可視化し、ユーザーのデータ分析を促進】直感的な操作ができるG U Iを採用し、ウェルプレートの状況をさまざまな方法で表

示。また細胞単位のデータを基に、「外れ値」の分析や細胞の集団としての傾向を捉えるなど、ユーザーのデータ分析を支援するさまざまなツールを備え、研究開発の効率化や加速に寄与する。

【③装置の拡張性を高め、研究ニーズに柔軟に対応】

倒立顕微鏡として研究用途でも使用できるハードウェアの拡張性を備え、共焦点レーザー顕微鏡システム「A X」や、高感度な顕微鏡デジタルカメラなどをアドオンでき、アッセイなど

の定型業務から応用研究まで幅広く対応可能。

<問い合わせ先>ニコンソリューションズバイオサイエンス営業本部(東京都品川区西大井1-7-11)

顕微鏡ソリューションサイト: [https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja\\_JP/](https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP/)



## 最高水準の作業スペース確保 省エネ低風量で空調コスト削減

オカムラ(横浜市西区北幸1-4-1)のLIGARE「リガーレ」は、コンパクトなモジュールでありながらも、業界最高水準の作業スペースを確保したヒュームフードである。作業性を損なうことなく、スペースを有効に利用することができる。

LIGARE「リガーレ」低風速式=写真=は、プッシュ型換気装置の性能がさらに進化した省エネルギータイプのヒュームフードである。「PUSH AIR(プッシュエア)」により、フード内部のガスの滞留や外乱等による漏洩を防止する優れた「封じ込め性能」を実現した。

新開発のスラッシュスリットは、パッフル板の中央にスリット

### オカムラ

を設けることで、フード内の気流を層流状態にする。また、気流の影響を受けやすい天板面や側面の凹凸をなくし開口面からパッフル板に向けてスムーズな一様流を形成する。

LIGARE「リガーレ」低風速式は、このように安全性を確保するとともに、エネルギー消費を抑えた低風量で空調コストの削減を図る。

▽外装: スチール(粉体焼付塗装仕上げ) ▽内装: 耐薬品性ボード(ノンアスベスト不燃材) ▽サッシ: 透明強化ガラス6 t・パランスウェイト方式▽作業面: エボ



キシ・セラミック・ホーロー・ケミテクト▽ユーティリティユニット: P V C▽給水栓: 遠隔操作式×1個▽コンセント: A C100 V15 A 2連アース付×2個▽照明: L E D照明

<同製品に関する問い合わせ先>オカムララボラトリー営業部(電話03-6627-6020)

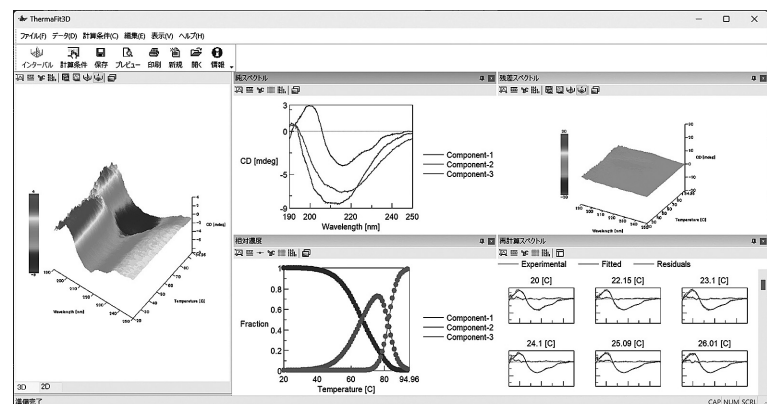
## 核酸の高次構造解析

### 日本分光

日本分光(東京都八王子市石川町2967-5)は2025年9月、核酸の熱変性過程において、どのような高次構造がどの比率で存在するかを明らかにする解析ソフトウェア「Th

ermaFit3D」をリリースした。

核酸医薬品や機能性核酸の分野では、高次構造が機能発現や安定性に直接関与することが知られており、構造の種類や比率の把握は研究開発から製造工程までの重要な評価指標となる。円二色性(C D)分散計は、核酸の高次構造



「ThermaFit3D」プログラム

## 特許技術採用 従來說覆す成果も

を識別し、温度依存的な構造変化や安定性を非破壊的に評価できる有力な手法である。

「ThermaFit3D」には、日本分光が新たに開発した特許技術である『熱力学モデルを拘束条件としたMCR-ALS』が採用されている。温度変化を伴う全波長C Dスペクトルを解析対象とし、得られた測定データを最大限に活用することで、「純成分スペクトル」および「各純成分の濃度分布」に加え、「各相転移の熱力学的パラメータ(T<sub>m</sub>、ΔH、ΔS)」を定量的に解析できる点が大きな特長である。

従来、単一構造であると想定されていた核酸試料においても、複数の構造が共存し、温度条件に応じてその比率が変化することが「ThermaFit3D」により明らかにされた例が報告されている。

核酸の構造安定性や機能制御の研究者にとって、「ThermaFit3D」は高次構造解析の新しいスタンダードツールとなるだろう。

## ロングセラーの中型、透明アップフードタイプが リニューアル!消費電力(Wh)は従来機の約1/6!

### 恒温振とう培養機 BR-40UL

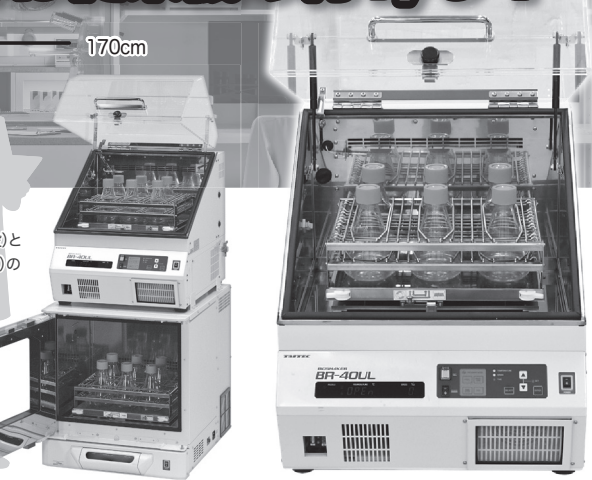
本体価格 ¥1,228,000

- 500mL三角フラスコなら最大8個
- リニューアルしてプログラム運転が可能に!



使用温度範囲+4℃～+70℃。また室温が十分に低い際には冷凍機をスイッチOFFして大きく省エネできます。他の中型BRシリーズ(BR-41～53)の上積み重ね設置も可能で省スペースに貢献。

BR-40UL(上段)とBR-43FL(下段)の積み重ね例



## products & Campaign

## スタックケースプレゼント キャンペーン!積み重ね&空間を有効活用!

低振動なタイテックの卓上小型機 Next シリーズ。対象製品ご購入の方にラボの省スペースに嬉しい専用積み重ね用架台をプレゼント!!

詳しくは Web へ▶



積み重ねても  
速く安定してるし  
とても静かだよ!!



2025年  
12月31日  
受注分まで